



#### 4 技術者・技能者等の効率的活用について

##### (1) 地域の実情に応じた適切な発注ロットの設定

少額工事でも現場代理人の常駐や技術者の配置が必要となるため、工事箇所  
の規模や内容、管内業者の手持ち工事量等を考慮し、適切な発注ロットの設定  
について検討のこと。

##### (2) 災害復旧事業等に対する特例措置の活用

復旧復興事業による工事量の増大が見込まれる被災地域では、当該地域にお  
ける建設業者数や技術者数等を踏まえ、適切な工事量での発注が行われるよう、  
特に配慮するとともに、災害復旧事業等に対する特例措置の活用や状況に応じ  
た適切な地域要件の設定等、必要な対策を機動的に講じること。

- ・発注計画の公表（業種欄（工事区分を記載）、備考欄（復興JVの参加など）の徹底
- ・発注標準表の特例の活用
- ・復旧・復興のための共同企業体（復旧・復興建設工事共同企業体）の活用
- ・（災害復旧工事を円滑に実施するため）建設工事、委託業務のフレックスの活用
- ・落札候補者の辞退（令和2年7月30日付け2建政技第137号）

建設部	建設政策課	技術管理室
青木	謙通	（室長）
北原	誠	（副主任専門指導員）、滝澤 寛明（担当）
電 話	026-235-7313	
ファクシミリ	026-235-7482	
電子メール	gijukan-nyukei@pref.nagano.lg.jp	